

◇原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。

◇文字数については下記のとおりです。

- ・小学校低学年の部（1、2年生）本文 800字以内
- ・小学校中学年の部（3、4年生）本文1,200字以内
- ・小学校高学年の部（5、6年生）本文1,200字以内
- ・中学校の部 本文2,000字以内
- ・高等学校の部 本文2,000字以内

◇句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。

◇題名、学校名、氏名は字数に数えません。

応募作品

◇日本語で書かれた作品に限ります。

◇課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。

◇個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他の類似コンクールとの二重応募は認めません。

◇盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。

◇入賞・入選作品は理由を問わず返却しません。

作品提出

◇本コンクールは学校を通じてご応募いただくコンクールです。在籍校が本コンクールに参加することによって応募が可能となります。したがって、個人の方からの直接応募は受け付けておりません。なお、在籍校が本コンクールに参加しているか不明な場合は、各在籍校へご確認ください。

◇作品は自筆のものを提出してください（コピー不可。デジタル機器使用不可。ただし、自筆が不可能でデジタル機器を使用する、または代筆となるなどの場合は理由を添えてご応募ください）。

◇別掲の応募票（コピー可）に必要事項をご記入ください。この応募票を基に審査が行われます。記入もれや、誤った情報を記入いただきますと、審査ができない場合がありますので、正確にご記入ください。

◇ご記入いただいた応募票は、作品の一番上に貼付して、右肩をとじてください。

応募締め切り

◇締め切りは都道府県により異なります。詳細は在籍校の図書館の先生または、青少年読書感想文全国コンクールWebサイトに掲載の【問い合わせ先】にお問い合わせください。

作品と氏名等の使用・公表

※ご了承のうえ、ご応募ください。

◇応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。

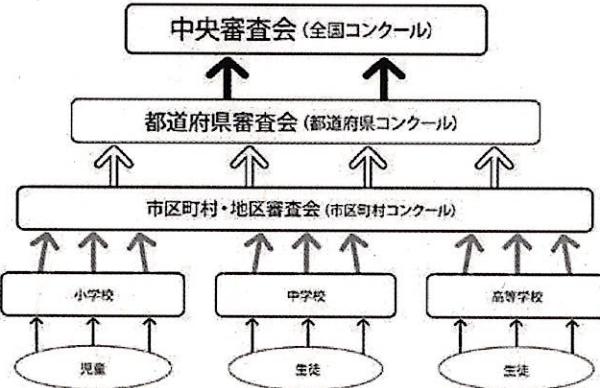
ページの最初に

- ◇入賞・入選された方の応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は主催者の刊行物やWebサイトで公表します。また、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各種媒体で使用・公表することがあります。
- ◇上記公表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがあります。

審査

- ◇応募作品の審査は、都道府県審査を経て、中央審査会へと段階的に行われます。

【段階的審査の例】



※都道府県によっては、本応募要項の他に規定を設けている場合があります（指定原稿用紙の有無、原稿用紙の使い方、提出方法など）。詳細は在籍校にご確認ください。

- ◇都道府県審査会において各部ごとに優秀作品を選び、各部課題読書1編、自由読書1編を中央審査会に送付します。
- ◇中央審査会は東京において、小・中・高等学校関係者および学識経験者（甲斐雄一郎・文教大学教授、川北亮司・児童文学作家ほか、以上予定）などで構成する委員会で行います。
- ◇海外日本人学校、補習授業校、私立在外教育施設からの作品は、全国学校図書館協議会で受け付けます。（現地校のみの在籍者の応募は受け付けません。）この締め切りは2025年9月30日(火)まで（全国学校図書館協議会必着）とします。

入賞発表

- ◇在籍校を通じ、本人あてに通知します。同時に、2026年2月『毎日新聞』、『毎日小学生新聞』、『学校図書館』および『学校図書館速報版』紙上で発表します。

表彰

- ◇本人には個人賞を、在籍校には学校賞を贈呈します。
- 《個人賞》
- ◎内閣総理大臣賞（最優秀作品）
課題読書、自由読書を通じて各部1編。賞状およびブロンズ像。

- ◎文部科学大臣賞（優秀作品）
課題読書、自由読書を通じて各部1編。賞状および盾。
 - ◎毎日新聞社賞（優秀作品）
課題読書、自由読書を通じて各部5編。賞状および盾。
 - ◎全国学校図書館協議会長賞（優良作品）
課題読書、自由読書を通じて各部6編。賞状および盾。
 - ◎サントリー奨励賞（奨励作品）
課題読書、自由読書を通じて各部10編以内。賞状および盾。
 - ◎入選賞（入選作品）
上記の最優秀、優秀、優良、奨励作品を除く都道府県代表として認められた作品。賞状およびオリジナル図書カード。
- 《学校賞》
- ◎内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞を受賞した児童生徒の在籍校へ、賞状、盾およびサントリーサンクス。

入賞・入選作品の著作権・公表

- ◇入賞・入選作品の著作権は、選出と同時に主催者に譲渡されます。ただし、本人および在籍校の利用は妨げません。
- ◇最優秀作品、優秀作品、優良作品、奨励作品は入賞作品集「考える読書」（毎日新聞出版刊行）に掲載されます。

表彰式

- ◇2026年2月上旬、最優秀・優秀・優良作品の入賞者本人と在籍校の学校代表および奨励作品・入選作品の代表者を招待して、東京で表彰式を行います。
※国外在住の入賞者については旅費の一部を負担します。

受賞証明書について

- ◇内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞の受賞者が希望した場合、受賞証明書を発行します（送料実費）。詳細は入賞発表通知であらためてお知らせします。

青少年読書感想文コンクール運営事務局

- ※作品送付先ではありません
- ◇公益社団法人 全国学校図書館協議会
〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目17-1 湯島大同ビル
Tel. 03-6284-3722 (代) Fax. 03-6284-3725
- ◇毎日新聞社 青少年読書感想文全国コンクール事務局
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館
毎日企画サービス
Tel. 03-6265-6813 Fax. 03-6265-6837

ご注意
ください

地方審査によっては、応募要項のほかに規定を設けていて、本応募票が必要ない場合や別の応募票が必要な場合があります。必ず在籍校にご確認ください。

記入前にご確認ください

- この応募票は応募者本人、保護者が記入してください。
- わかりやすく楷書で記入し、作品の一番上に貼付し、右肩をとじてください。
- 「対象図書」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。審査会では対象図書を参照します。
- 記入もれや、誤った情報は審査ができない場合がありますので、正確に記入してください。
- 応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することができます。ご了承のうえ、記入してください。



読むこと、書くこと、自分を知ること。
第71回 青少年読書感想文
全国コンクール

※提出は在籍校へお願いします

応募票

応募区分

課題読書
自由読書
(○で印んでください)

感想文の題名					
所 属	(ふりがな) 学校名	都道府県	部立	市区町村	学校
	学校所在地 ・担当者名 (電話番号は市外局番 から記入してください)	(〒) (電話) (所在地) (担当者名) (E-mail))
応 募 者	部・学年	小低・小中・小高・中学・高校		学年	年
	(ふりがな) 氏名	()		生年月日・年齢 ※高校生のみ記入 年 月 日生(歳)	
対象 図書 (読 んだ 本)	書名 ※サブタイトルも必ず記入ください				
	著者・編者・訳者・画家				
	シリーズ名・文庫名				
	発行所・発行年	発行所			発行年
定価・大きさ・ページ数	定価	円(本体 円)	大きさ	縦の長さ cm	ページ数
感想文執筆に際し 参考にした資料の有無 (どちらかを○で印んでください)	有 ・ 無	(参考にしたもののお問い合わせやWebアドレス等を具体的に記入してください)			
応募作品と応募票に記入した情報を公表することができます。 すべてご同意いただいたうえで、チェック <input checked="" type="checkbox"/> を入れてください。		<input type="checkbox"/> 了承します			

※点線で切り取って作品に添付してください。

※本票はA4用紙で印刷されることを想定して作成しています。